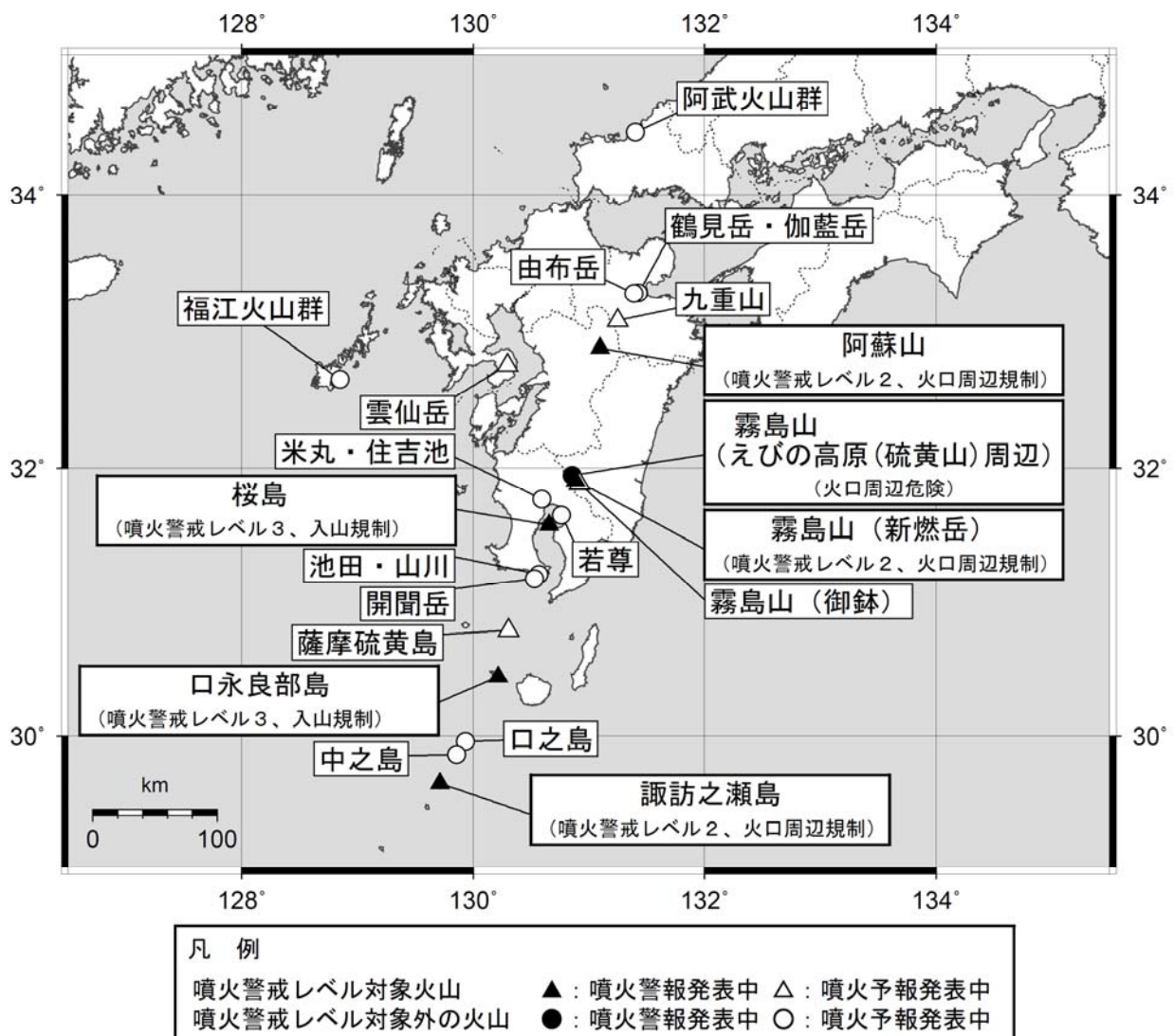


## 管内月間火山概況（平成27年3月）

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター

## 噴火警報及び噴火予報の発表状況（3月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	レベル2（火口周辺規制）	阿蘇山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）
噴火予報	レベル1（平常）	九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	平常	阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況（平成27年4月分）は平成27年5月13日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

## 各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

### つるみだけ がらんだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### くじゅうさん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、GNSS 連続観測によると、わずかに伸びの傾向が認められますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

### あそさん 阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

阿蘇山では、噴火活動が続いています。

中岳第一火口では、断続的に噴火が発生しています。21 日には、灰白色の噴煙が火口縁上 1,400m まで上がりました。

火山性微動は、概ね振幅の大きな状態で継続しました。

中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。火口周辺では強風時に小さな噴石が 1 km を超えて降るため、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石にも注意してください。

### うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、長期的には 2010 年頃から火山性地震の活動がやや活発となっており、今後の火山活動の推移に注意してください。

### きりしまやま しんもえだけ 霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

20 日から 26 日にかけて、新燃岳火口直下を震源とする火山性地震がやや増加しました。

GNSS 連続観測によると、新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2011 年 12 月以降鈍化・停滞していましたが、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられます。新燃岳周辺の一部の基線で、2013 年 12 月頃からみられていた伸びの傾向は、やや鈍化しています。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降る恐れがあるため注意してください。降雨時には、泥流や土石流に注意してください。

### きりしまやま おほち 霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### きりしまやま こうげん いおうやま 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [火口周辺警報（火口周辺危険）]

えびの高原（硫黄山）周辺では、表面現象には異常は認められませんが、地震活動が継続していますので、今後の推移に注意する必要があります。また、噴気や火山ガスなどが突然噴出し、今後状況によっては噴火が発生する可能性があります。

えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降る恐れがあるため注意してください。

### さくらしま 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

昭和火口では、爆発的噴火が過去最多の 178 回発生するなど、活発な噴火活動が継続しました。

桜島島内の伸縮計では、2015 年 1 月 1 日頃から山体の膨張と考えられる変化が継続しています。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石

及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

さつまいおうじま

#### 薩摩硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

くちのえらぶじま

#### 口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

口永良部島の火山活動は活発な状態が継続しています。

噴火は発生しませんでした。火山性地震が時々発生し、火山ガスは多い状態で経過しています。

また、24～31 日の夜間から明け方にかけて、高感度カメラで火映を観測し、25 日に気象庁機動調査班（JMA-MOT）が第十管区海上保安本部の協力を得て、口永良部島上空からの観測を実施した結果、新岳火口西側部分の熱異常域内で温度の上昇が認められました。

以上のように火山活動の高まりがみられており、今後、爆発力が強い噴火や規模の大きな噴火に移行する可能性があります。

新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降る恐れがあるため注意してください。

降雨時には土石流の可能性がありますので注意してください。

すわのせじま

#### 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

御岳火口では、5 日にごく小規模な噴火が発生しました。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。